

検査成績評定項目別評定表(公園・植栽)

第2号様式の6

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施	施工管理		提出書類は整っている。
			契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。
			特記仕様書の規定は守られている。
			材料搬入調書の数量は必要量入っている。
			施工管理記録が整理されている。
			工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工程・撮影時期・撮影方法とも適切である。
			各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。
			現場の組織・体制が明確かつ現場代理人・主任技術者等が、契約内容を熟知している。
			施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
			()
			評定点
工 管 理	品質管理		材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書等)は整理されている。
			品質試験は、頻度・項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。。
			品質試験の結果は、規格値を満たしている。
			品質管理についての工事記録写真が整理されている。
			品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
			使用材料の規格は、契約書と合致している。
			植栽する樹木等は、搬入日に植え付けしている。
			活着管理(根の乾燥防止・植付け後の水ぎめ等)が適切に行われている。
			樹木等に病害虫、損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。
			樹木等の生育に害のあるものは除去されている。
			必要な樹形をもち、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。
			剪定切り口の処理が適切である。
			肥料は直接樹木の根にふれないように、且つ飛散・流失、また悪臭発生がしないよう施肥されている。
			材料の品質及び形状が設計図書等との整合が確認でき、証明書が整備されている。
			遊戯施設・電気設備・機械設備等の機能と安全性は設計図書等と整合し、また証明書が整備されている。
	部品の品質及び形状については設計図書等との整合が確認でき、証明書が整備されている。		
	()		
	評定点	／(× 3) × 100 =	

検査成績評定項目別評定表(公園・植栽)

第2号様式の6

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施工	出来形		出来高数量は、契約数量を満たしている。
			出来高数量の算出根拠は、整理されている。
			出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。
			出来形管理の資料は、整理されている。
			出来形計測値は、規格値を満たしている。
			園路・広場等の舗装の、基準高、幅、厚さは、規格値以内に施工している。
			休養・修景施設等の構造物の、位置、延長、高さ、幅、厚さは、規格値を満たしている。
			幹周り、樹高、枝幅等樹木の形状は、規格値を満たしている。
			コンクリート基礎の基準高、幅、厚さは規格値内である。
			現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
			自社の管理基準を設定し、管理が行われている。
			出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
			出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。
			()
	評定点	／(× 3) × 100 =	
管理	出来ばえ		植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され良好な施工がうかがえる。
			既設舗装・構造物へのすりつけ等は良好である。
			雨水処理は良好である。
			全体的な仕上がり・外観、おさまり具合は良好である。
			目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
			出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られた。
			管きよ、縁石、防護柵の通りは正確に仕上がっている。
			給水管・排水管の接続は仕様書に従って丁寧に行われている。
			管路、側溝の流水面に滞水はない。
			縁石の目地モルタルは十分充てんされている。
			公園施設等の施工は丁寧に行われている。
			ベンチ前面の足元地盤等については、水はけを考慮し地均して充分転圧している
			ボルト等による締め付け箇所については、十分な締め付けがされている。
			木部及びコンクリート部の面取り・水切りがされている。
	水勾配を考慮した施設設置を行っている。		
	()		

検査成績評定項目別評定表(公園・植栽)

第2号様式の6

評定項目	細目	評点	評価対象項目
施工管理	出来ばえ		植栽等の施工は丁寧で通日も良好である。
			控木の丸太は、防腐処理したものを使用している。
			控木、添木等の取り付け方法は、仕様書どおり行われている。
			街路樹の樹幹は、垂直に建て込み道路と平行になるよう見栄え良く植え付けている。
			庭園樹の樹幹は、景観等を考慮し見栄え良く植え付けている。
			土は、土塊、石、瓦礫、雑草等がない。
			全体的な仕上がり・外観、おさまり具合が良好である。
			人孔、及び柵の蓋は路面にならい、なじみよく据え付けられている。
			人孔、及び柵の内部モルタルはコテを使って丁寧に仕上げられている。
			支柱に取り付けるボルトのナット位置は施設利用者に配慮してある。
			標識板等の向き、角度、表示板と支柱の通り、傾斜等は適正である。
			標識板等の設置位置に配慮がある。
			標識板、支柱に変色がない。
			施設構造物の肌、通り、収まり等仕上げの状態が良い。
			舗装の平坦性が良い。
			舗装面に停滞水がない。
			遊具・電気設備・機械設備等の作動が安全でかつ良好にある。
			柵の端部処理が良い
	きめ細やかな施工がなされている。		
	将来の維持管理等への配慮が良い。		
	()		
	評定点	／(× 3) × 100 =	

備考 1各評価対象項目は、良好(3点)・普通(2点)・やや不良(1点)・不良(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。

2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

(評価した項目の得点合計) / (評価した項目数 × 3) × 100

3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。